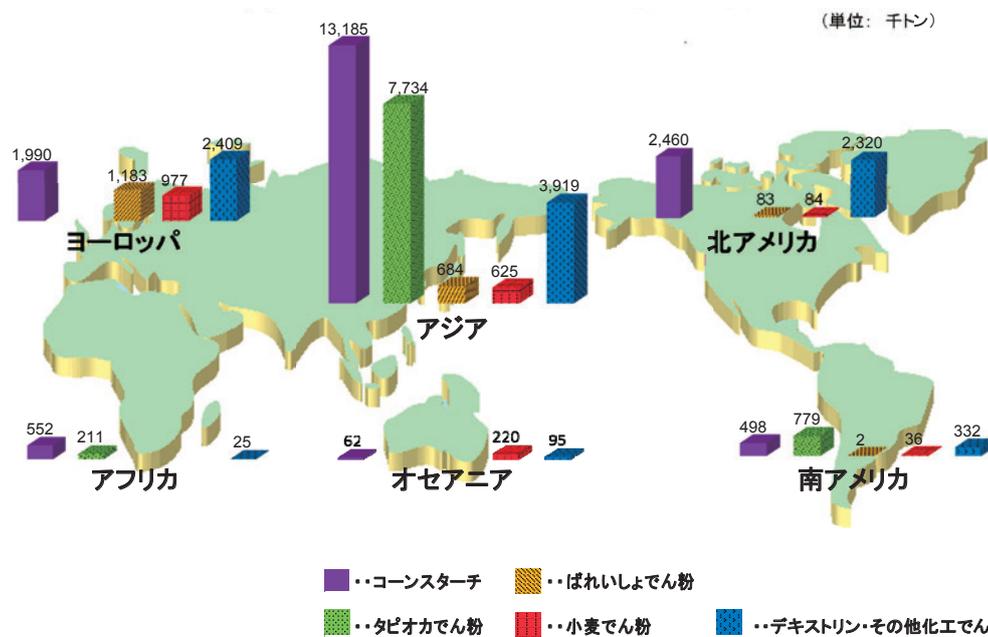


## 1. 世界のでん粉需給

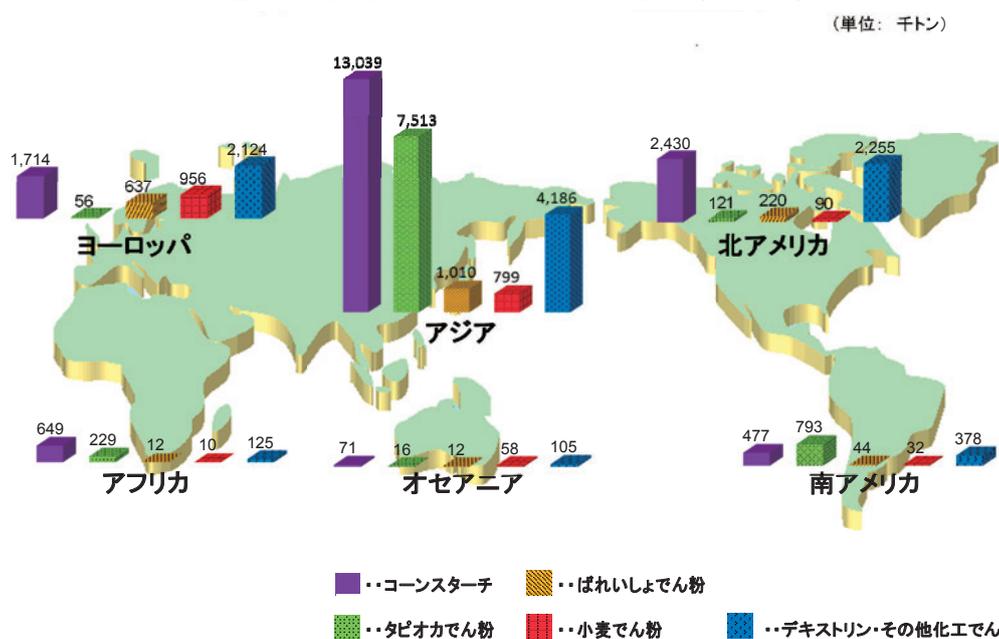
図1 絵で見る世界のでん粉生産量（2018年）



資料: LMC International \*「Global Starch Supply & Demand Research Report」を基に農畜産業振興機構作成  
 (\*農産物の需給などを調査する英国の民間調査会社)

注: ヨーロッパには、ロシアを含む。

図2 絵で見る世界のでん粉消費量（2018年）



資料: LMC International 「Global Starch Supply & Demand Research Report」を基に農畜産業振興機構作成

注: ヨーロッパには、ロシアを含む。

表1 トウモロコシ相場、キャッサバ市価

年・月	シカゴトウモロコシ・期近 (セント/BU)			タイキャッサバ (パーツ/kg)	
	高 値	安 値	平均値	キャッサバ 農家価格	チップ 卸売価格
2014年	515.75	320.75	415.91	2.10	6.76
2015年	433.50	347.75	376.57	2.16	6.78
2016年	437.75	301.50	358.36	1.52	5.66
2017年	392.25	329.50	359.29	1.40	5.14
2018年	408.50	330.25	368.07	2.38	6.85
2018年12月	385.50	371.25	376.23	2.30	6.31
2019年1月	383.00	371.25	378.69	2.20	6.22
2	380.75	362.00	373.79	2.17	6.00
3	379.75	352.50	366.63	2.15	6.22
4	365.25	346.75	357.70	2.11	6.30
5	436.25	342.50	379.76	1.83	6.27
6	454.75	414.75	435.23	1.65	6.43
7	449.50	400.25	427.05	1.65	6.56
8	411.00	357.00	376.24	1.72	6.58
9	388.00	340.75	362.16	1.62	6.54
10	397.75	380.25	389.77	1.70	6.37
11	389.25	362.75	373.63	1.87	6.08
12	390.00	357.75	377.92		6.07

資料：CME Group、タイ農業協同組合省、タイ商務省

注1：チップ卸売価格は、アユタヤ県とチョンブリー県の価格を単純平均したものの。

注2：1ブッシェル（BU）は25.401キログラム。

（シカゴトウモロコシ相場の直近のデータは、当機構ホームページの「海外情報」に掲載しています。）

（<https://www.alic.go.jp/international/index.html>）

## 2. 日本の品目別主要輸入先国の動向

本稿中の為替レートは2019年12月末日TTS相場の値であり、1米ドル=111円（110.56円）、1タイ・パーツ=3.71円、1ユーロ=124円（124.04円）である。

### トウモロコシ・コーンスターチ

#### 米 国

#### 【需給動向：トウモロコシ】

#### 生産量および総消費量がそれぞれわずかに上方修正

2020年1月時点の米国農務省（USDA）による、2019/20穀物年度（9月～翌8月）のトウモロコシ需給予測によると、生産量は136億9200万ブッシェル（3億4779万トン、前年度比4.5%減、前

月比0.2%増）とわずかに上方修正された。消費関連の数値は、国内消費量のうち食品・種子・その他工業向けおよび輸出量が下方修正されたものの、国内消費量のうち飼料など向けがそれらを上回って上方修正されたことから、総消費量は140億7000万ブッシェル（3億5739万トン、同1.5%減、同1.1%増）とわずかに上方修正された。期末在庫は18億9200万ブッシェル（4806万トン、同14.8%減、同0.9%減）とわずかに下方修正された（表2）。

## 【価格動向：トウモロコシ】

生産者平均販売価格は前月の予測から変わらず

2019/20穀物年度のトウモロコシの生産者平均

販売価格は、前月と同じ1ブッシェル当たり3.85米ドル（427円）と予測され、2カ月変更がなかった。

表2 米国のトウモロコシの需給見通し

区 分	一単位	2017/18年度	2018/19年度 (推測値)	2019/20年度		
				(12月予測)	(1月予測)	前年度比 (増減率)
作付面積	(百万エーカー)	90.2	88.9	89.9	89.7	0.9%
収穫面積	(百万エーカー)	82.7	81.3	81.8	81.5	0.2%
単収	(ブッシェル/エーカー)	176.6	176.4	167.0	168.0	▲4.8%
国内生産量	(百万ブッシェル)	14,609	14,340	13,661	13,692	▲4.5%
輸入量	(百万ブッシェル)	36	28	50	50	78.6%
期首在庫	(百万ブッシェル)	2,293	2,140	2,114	2,221	3.8%
総供給量	(百万ブッシェル)	16,939	16,509	15,825	15,962	▲3.3%
国内消費量	(百万ブッシェル)	12,361	12,223	12,065	12,295	0.6%
飼料など向け	(百万ブッシェル)	5,304	5,432	5,275	5,525	1.7%
食品・種子・その他工業向け	(百万ブッシェル)	7,057	6,791	6,790	6,770	▲0.3%
エタノール向け	(百万ブッシェル)	5,605	5,376	5,375	5,375	▲0.0%
輸出量	(百万ブッシェル)	2,438	2,065	1,850	1,775	▲14.0%
総消費量	(百万ブッシェル)	14,798	14,288	13,915	14,070	▲1.5%
期末在庫	(百万ブッシェル)	2,140	2,221	1,910	1,892	▲14.8%
期末在庫率	(%)	14.5	15.5	13.7	13.4	▲13.5%
生産者平均販売価格	(米ドル/ブッシェル)	3.36	3.61	3.85	3.85	6.6%

資料：USDA/WAOB「World Agricultural Supply and Demand Estimates」

注1：年度は、9月～翌8月。

注2：1エーカーは0.4047ヘクタール。

## 【貿易動向：トウモロコシ】

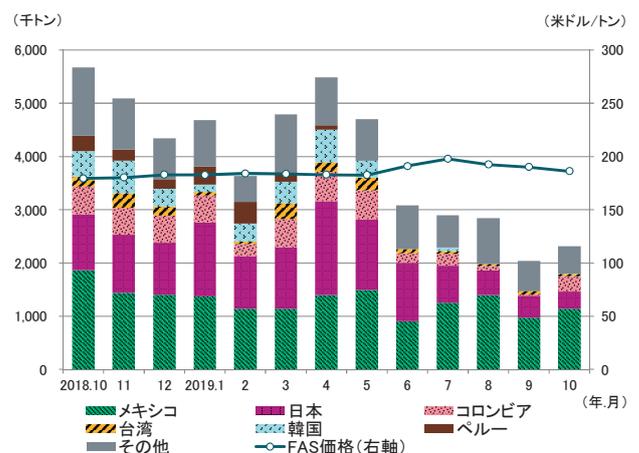
10月の輸出量は前年同月から大幅に減少したものの、前月からはかなり大きく増加

2019年10月のトウモロコシ輸出量は、231万5969トン（前年同月比59.2%減、前月比13.5%増）と前年同月からは大幅に減少したものの、前月からはかなり大きく増加した（図3）。同月の主要国別輸出量は、表3の通りである。

また、同月の輸出価格（FAS<sup>(注)</sup>）は、1トン当たり186.1米ドル（2万657円、同3.8%高、同2.1%安）と前年同月からはやや上昇したものの、前月からはわずかに下落した。

（注）Free Alongside Shipの略。貨物を船側に付けた段階で支払われる価格。FOB価格と異なり、横持ち料（倉庫間の移動費）、積み込み料などは含まれない。

図3 米国のトウモロコシ輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注：HSコード100590

表3 米国のトウモロコシ輸出量（10月）

輸出先	輸出量（トン）	前年同月比（%）	前月比（%）
合計	2,315,969	▲59.2	13.5
うち メキシコ	1,134,560	▲39.0	16.9
日本	324,494	▲69.1	▲22.4
コロンビア	290,087	▲44.4	15.9倍
台湾	40,134	▲78.7	▲31.5
韓国	3,776	▲99.2	▲24.2

資料：「Global Trade Atlas」  
注：HSコード100590

### 【貿易動向：コーンスターチ】

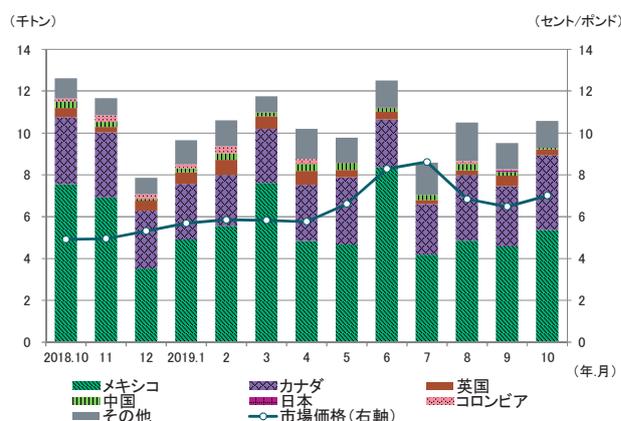
10月の輸出量は前年同月から大幅に減少したものの、前月からはかなり大きく増加

2019年10月のコーンスターチ輸出量は、1万574トン（前年同月比16.2%減、前月比11.2%増）と前年同月からは大幅に減少したものの、前月からはかなり大きく増加した（図4）。同月の主要国別輸出量は、表4の通りである。

同月の中西部市場のコーンスターチ市場価格は、1ポンド<sup>(注)</sup>当たり7.01セント（7.8円、同42.6%高、同8.2%高）と前年同月からは大幅に、前月からはかなりの程度上昇した。

（注）1ポンドは約0.45キログラム。

図4 米国のコーンスターチ輸出量および市場価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」、USDA/ERS

注1：HSコード110812

注2：価格は米国中西部市場における製粉業者の純費用（Net Cost）。なお、純費用については、トウモロコシ1ブッシェル当たり平均31.5ポンド（1キログラム当たり約0.56キログラム）のでん粉が含まれているものとして、計算されている。

表4 米国のコーンスターチ輸出量（10月）

輸出先	輸出量（トン）	前年同月比（%）	前月比（%）
合計	10,574	▲16.2	11.2
うち メキシコ	5,352	▲29.1	16.9
カナダ	3,593	11.6	24.7
英国	267	▲37.2	▲47.3
中国	75	▲76.5	▲54.3
日本	10	2.0倍	▲89.1

資料：「Global Trade Atlas」

注：HSコード110812

## タピオカでん粉

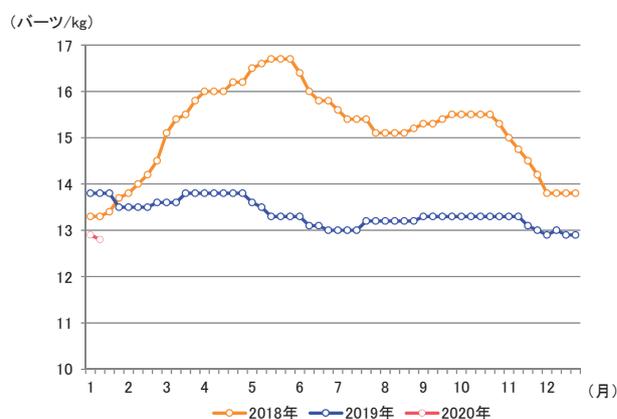
### タイ

#### 【価格動向】

タピオカでん粉国内価格は前年同期をかなりの程度下回る

タイタピオカでん粉協会（TTSA）によると、2020年1月第2週のタピオカでん粉の国内価格は、1キログラム当たり12.8バーツ（47円、前年同期比7.2%安、前週比0.8%安）と前年同期からはかなりの程度、前週からはわずかに下落した（図5）。2019年12月末から同13.0バーツを下回って推移している。

図5 タイのタピオカでん粉国内価格の推移



資料：TTSA「Weekly Tapioca Starch Price」

注：当該週の特定日の価格。

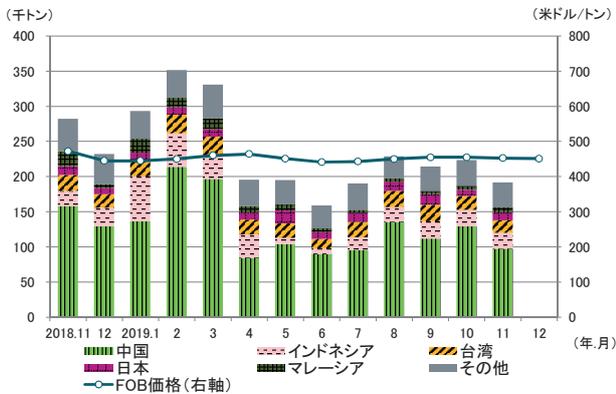
## 【貿易動向】

### 11月の輸出量は前年同月から大幅に、前月からはかなり大きく減少

2019年11月のタピオカでん粉輸出量は、19万1695トン（前年同月比32.0%減、前月比14.2%減）と前年同月からは大幅に、前月からはかなり大きく減少した（図6）。同月の主要国別輸出量は、表5の通りである。

同月の輸出価格（FOB・バンコク）は、1トン当たり452.5米ドル（5万228円、同4.2%安、同0.5%安）と、前年同月からはやや、前月からはわずかに下落した。12月の輸出価格は、同451.3米ドル（5万94円、同1.4%高、同0.3%安）と、前年同月からはわずかに上昇したものの、前月からはわずかに下落した。

図6 タイのタピオカでん粉輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」、TTSA「Weekly Tapioca Starch Price」

注1：HSコード110814

注2：価格はバンコクのFOB価格。

表5 タイのタピオカでん粉輸出量（11月）

輸出先	輸出量（トン）	前年同月比（%）	前月比（%）
合計	191,695	▲32.0	▲14.2
うち 中国	97,318	▲38.4	▲24.5
インドネシア	22,616	5.3	▲4.1
台湾	17,477	▲22.2	▲11.2
日本	11,884	▲7.5	40.9
マレーシア	6,394	▲69.7	9.0

資料：「Global Trade Atlas」

注：HSコード110814

## ベトナム

### 【生産動向】

#### 11月は北部で収穫最盛期を迎えるものの、南部主産地で原料が不足

ベトナムの調査会社AgroMonitorによると、天候に恵まれた北部ではキャッサバの収穫が最盛期を迎え、供給量が順調に推移している。北部のキャッサバのでん粉含有量は、前年と比べて高いとみられている。

その一方で、南部は収穫最盛期を既に終え、第2位の作付面積を誇るタイニン省では、10月半ばから新期作付けに移行している。そのため、でん粉製造工場へ運ばれる国産のキャッサバの量は不足しており、11月半ばからカンボジア産のキャッサバが代用されているが、カンボジアにおいて乾季到来を祝う水祭りや稲刈りに労働力が割かれた影響で、同国からのキャッサバの輸入量は減少傾向にあり、製造工場の稼働率は低い状況となっている。

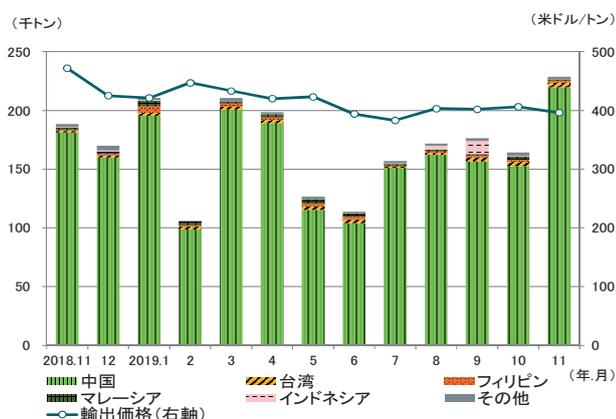
（注）2019年11月15日時点の推計値が公表されなかったため、今月号ではベトナムのキャッサバ作付面積の表は掲載しない。

### 【貿易動向】

#### 11月の輸出量は前年同月および前月から大幅に増加

AgroMonitorによると、2019年11月のタピオカでん粉輸出量は、22万8630トン（前年同月比21.2%増、前月比39.0%増）と、前年同月および前月から大幅に増加した（図7）。同月の主要国別輸出量は、表6の通りである。

図7 ベトナムのタピオカでん粉輸出量および輸出価格の推移



資料：ベトナム関税総局のデータを基にAgroMonitor作成

注1：HSコード110814

注2：価格は、中国向け輸出のCFR（Cost and Freightの略。輸入港までの海上運賃が売手の負担となり、危険負担は本船に船積みしたときに終了する契約条件）平均価格。

表6 ベトナムのタピオカでん粉輸出量（11月）

輸出先	輸出量（トン）	前年同月比（%）	前月比（%）
合計	228,630	21.2	39.0
うち 中国	219,724	21.5	43.8
台湾	3,957	2.6倍	10.0
フィリピン	1,501	98.3	▲5.2
マレーシア	1,090	▲42.7	▲62.0

資料：ベトナム関税総局のデータを基にAgroMonitor作成  
注：HSコード110814

## ばれいしょでん粉

### E U

#### 【貿易動向】

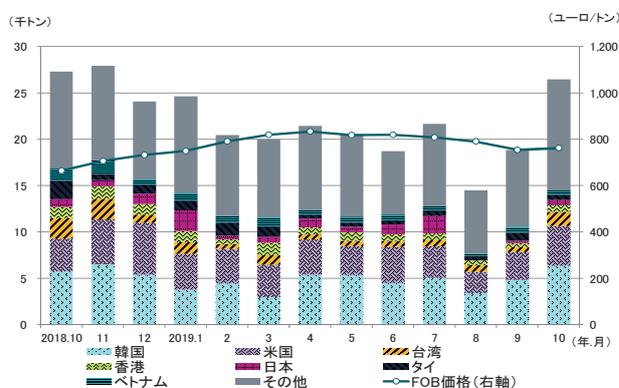
10月の輸出量は前年同月からはやや減少したものの、前月からは大幅に増加

2019年10月のばれいしょでん粉輸出量（注）は、2万6471トン（前年同月比3.0%減、前月比40.6%増）と前年同月からはやや減少したものの、前月からは大幅に増加した（図8）。同月の主要国別輸出量は、表7の通りである。

また、同月の輸出価格（FOB）は、1トン当たり762ユーロ（9万4488円、同14.8%高、同1.1%高）と前年同月からはかなり大きく、前月からはわずかに上昇した。

（注）輸出先の不明なものを除く。

図8 EUのばれいしょでん粉輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード110813

注2：輸出先の不明なものを除く。

表7 EUのばれいしょでん粉輸出量（10月）

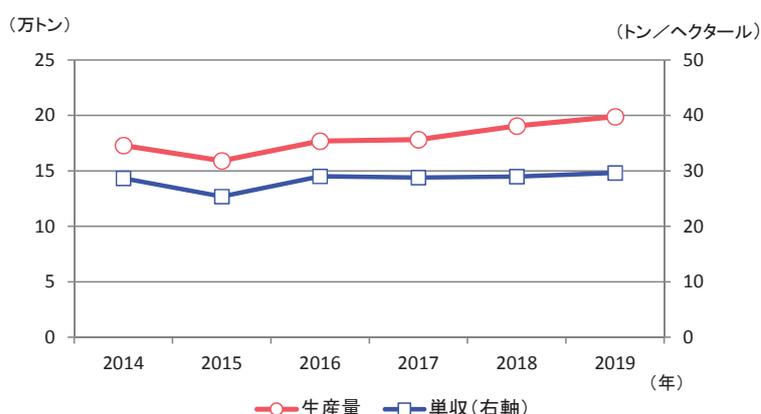
輸出先	輸出量（トン）	前年同月比（%）	前月比（%）
合計	26,471	▲3.0	40.6
うち 韓国	6,339	10.5	31.4
米国	4,310	21.1	43.8
台湾	1,511	▲31.1	2.9倍
香港	722	▲40.4	63.3
日本	572	▲31.6	2.4倍
タイ	551	▲71.5	▲38.0
ベトナム	459	▲66.3	▲24.5

資料：「Global Trade Atlas」  
注：HSコード110813

## コラム フィンランドのばれいしょでん粉について

フィンランドは北緯60～70度の間に位置し、寒冷な気候のため、限られた作物しか栽培できない土地が多いが、寒さに強い作物であるばれいしょは主に南部沿岸地域で栽培されている。ばれいしょ生産の主要国であるドイツ、フランス、オランダにおいて、ばれいしょの単収は40～48トン／ヘクタールであるものの、フィンランドでは生育期間が短いため、その63%程（2019年のでん粉原料用ばれいしょの単収は29.7トン／ヘクタール）に留まる（コラムー図1）。

コラムー図1 フィンランドのでん粉原料用ばれいしょの生産量および単収

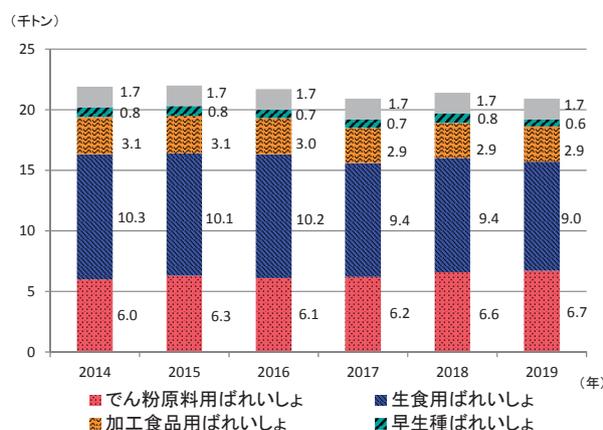


資料：フィンランド自然資源研究所

一方で、寒冷な気候のおかげで、ばれいしょの生育期における病害虫の発生が南欧諸国と比べて少なく、同国のばれいしょの品質は一般に非常に高いと言われている。

2014年以降、生食用、加工食品用、早生種ばれいしょの作付面積は減少傾向だが、でん粉原料用ばれいしょの作付面積は増加傾向にある（コラムー図2）。

コラムー図2 フィンランドの用途別ばれいしょの作付面積の推移



資料：フィンランド自然資源研究所

同国は、豊富な森林資源を生かした製紙、パルプ、木材が伝統的な基幹産業となっていることから、ばれいしょでん粉の多くが製紙産業で使用されている。2002年には、フィンランドで生産されたばれいしょでん粉の74%が製紙産業で使用されており、主に食品産業用としてばれいしょでん粉を用いるEUの他国とは異なっている。

# 化工でん粉

デキストリンおよびその他の化工でん粉（以下「化工でん粉」という）の主要輸出国の、主要仕向け先国別輸出量および輸出価格は以下の通りである。

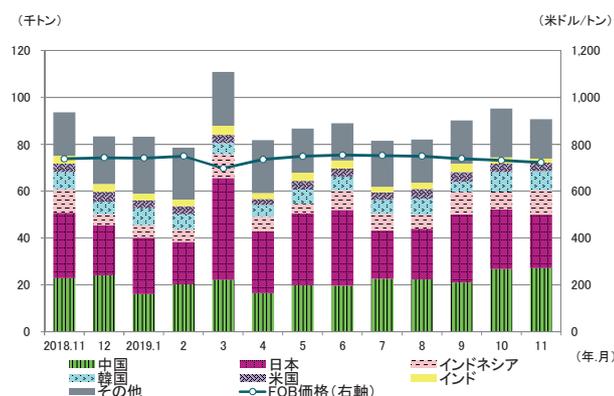
## タイ

### 【貿易動向】

11月の輸出量は前年同月および前月からやや減少

2019年11月の化工でん粉の輸出量は、9万807トン（前年同月比3.0%減、前月比4.8%減）と前年同月および前月からやや減少した（図9）。同月の主要国別輸出量は、表8の通りである。

図9 タイの化工でん粉の輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」  
注：HSコード350510

表8 タイの化工でん粉輸出量（11月）

輸出先	輸出量（トン）	前年同月比（%）	前月比（%）
合計	90,807	▲3.0	▲4.8
うち 中国	27,120	18.9	1.8
日本	22,816	▲18.4	▲10.7
インドネシア	10,425	4.9	38.1
韓国	8,037	8.4	▲3.0
米国	3,617	3.6	▲1.3
インド	1,731	▲48.0	▲34.2

資料：「Global Trade Atlas」  
注：HSコード350510

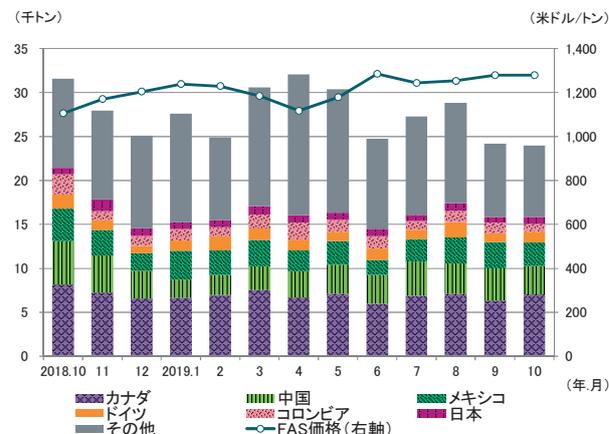
## 米国

### 【貿易動向】

10月の輸出量は前年同月から大幅に、前月からはわずかに減少

2019年10月の化工でん粉の輸出量は、2万3970トン（前年同月比24.1%減、前月比0.9%減）と前年同月からは大幅に、前月からはわずかに減少した（図10）。同月の主要国別輸出量は、表9の通りである。

図10 米国の化工でん粉の輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」  
注：HSコード350510

表9 米国の化工でん粉輸出量（10月）

輸出先	輸出量（トン）	前年同月比（%）	前月比（%）
合計	23,970	▲24.1	▲0.9
うち カナダ	7,037	▲13.7	10.8
中国	3,275	▲33.3	▲10.2
メキシコ	2,672	▲28.0	▲10.9
ドイツ	1,189	▲26.8	19.3
コロンビア	892	▲60.9	▲26.5
日本	774	0.7	24.4

資料：「Global Trade Atlas」  
注：HSコード350510

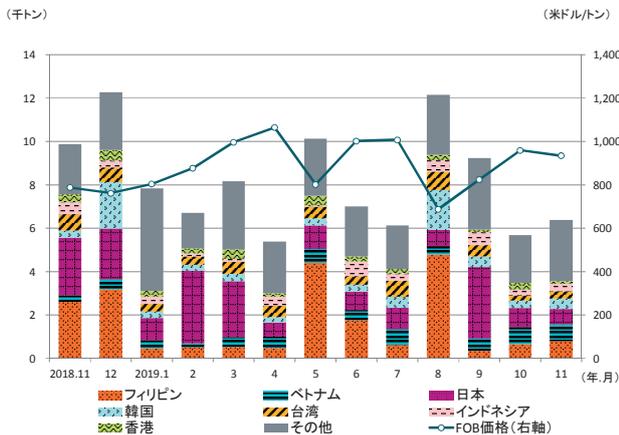
## 中国

### 【貿易動向】

11月の輸出量は前年同月から大幅に減少したものの、前月からはかなり大きく増加

2019年11月の化工でん粉の輸出量は、6384トン（前年同月比35.4%減、前月比12.1%増）と前年同月からは大幅に減少したものの、前月からはかなり大きく増加した（図11）。同月の主要国別輸出量は、表10の通りである。

図11 中国の化工でん粉の輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」  
注：HSコード350510

表10 中国の化工でん粉輸出量（11月）

輸出先	輸出量（トン）	前年同月比（%）	前月比（%）
合計	6,384	▲35.4	12.1
うち フィリピン	787	▲69.9	20.3
ベトナム	773	2.6倍	▲1.9
日本	710	▲73.2	▲19.6
韓国	470	45.5	37.8
台湾	360	▲53.4	45.7
インドネシア	331	▲40.3	26.8
香港	125	▲65.6	▲60.3

資料：「Global Trade Atlas」  
注：HSコード350510

## EU

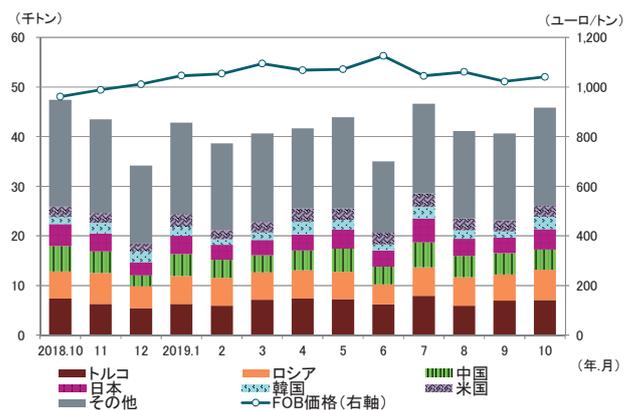
### 【貿易動向】

10月の輸出量は前年同月からやや減少したものの、前月からはかなり大きく増加

2019年10月の化工でん粉の輸出量<sup>（注）</sup>は、4万5896トン（前年同月比3.2%減、前月比12.9%増）と前年同月からはやや減少したものの、前月からはかなり大きく増加した（図12）。同月の主要国別輸出量は、表11の通りである。

（注）輸出先の不明なものを除く。

図12 EUの化工でん粉の輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注1：HSコード350510

注2：輸出先の不明なものを除く。

表11 EUの化工でん粉輸出量（10月）

輸出先	輸出量（トン）	前年同月比（%）	前月比（%）
合計	45,896	▲3.2	12.9
うち トルコ	7,098	▲3.4	2.3
ロシア	6,040	9.9	14.6
中国	4,131	▲18.6	▲3.7
日本	4,104	▲8.0	29.2
韓国	2,511	74.5	2.1倍
米国	2,176	5.7	▲6.6

資料：「Global Trade Atlas」  
注：HSコード350510

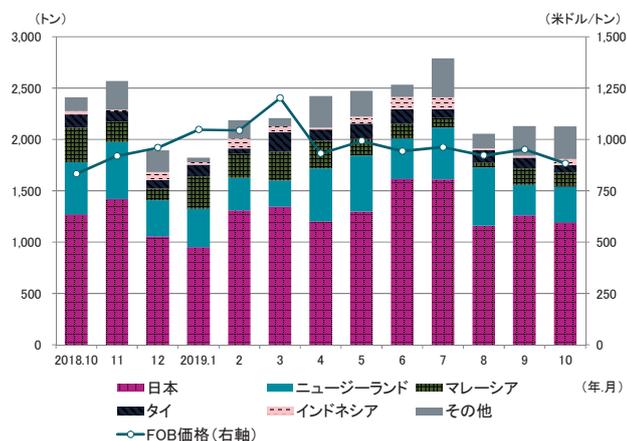
## 豪州

### 【貿易動向】

#### 10月の輸出量は前年同月からかなり大きく、前月からはわずかに減少

2019年10月の化工でん粉の輸出量は、2125トン（前年同月比11.9%減、前月比0.2%減）と前年同月からはかなり大きく、前月からはわずかに減少した（図13）。同月の主要国別輸出量は、表12の通りである。

図13 豪州の化工でん粉の輸出量および輸出価格の推移



資料：「Global Trade Atlas」

注：HSコード350510

表12 豪州の化工でん粉輸出量（10月）

輸出先	輸出量（トン）	前年同月比（%）	前月比（%）
合計	2,125	▲11.9	▲0.2
うち 日本	1,191	▲6.4	▲5.7
ニュージーランド	346	▲31.3	18.1
マレーシア	144	▲57.6	▲11.1
タイ	71	▲43.2	▲33.0
インドネシア	61	69.4	3.8倍

資料：「Global Trade Atlas」

注：HSコード350510